

19歳 笹生 全米女子オープン

ささきゆう

畑岡とのプレーオフ制す

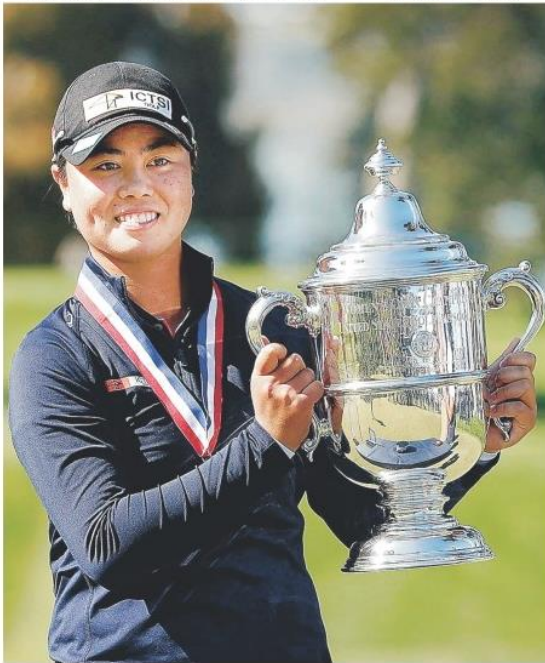
最年少タイ

【サンフランシスコ共同】女子ゴルフの笹生優花が6日、サンフランシスコのオリンピック・クラブで行われた全米女子オープン選手権で畑岡奈紗とのプレーオフを制して優勝した。女子最高峰の大会で、主催する米国ゴルフ協会によると19歳11カ月17日は従来の最年少優勝記録にちょうど並んだ。日本人の父とフィリピン人の母を持つ大器が、第76回を数える舞台の歴史に、日本勢として初めて名を刻んだ。

(5、7面に関連記事)

ゴルフ女子メジャー 日本勢3人目

ゴルフの全米女子オープン選手権でメジャー初優勝を果たした
笹生優花=6日、オリンピック・クラブ (ゲッティ=共同)



本当に信じられない

笹生優花の話。本当に信じられない。最初は(崩れて)本当にがっかりした。キャディーがまだチャンスはあると言ってくれた。とにかく家族にありがとうと言いた。彼らがいなければ私はここにいなかった。(共同)

(共同)

笹生 優花(さそう・ゆうか)父・正和さんの影響で8歳でゴルフを始め、母の出身地フィリピンを拠点に各国のジュニア大会で活躍。2018年アジア大会はフィリピン代表として個人と団体の2冠に輝いた。19年11月に日本ツアーのプロテスト合格。尾崎将司の指導も受けて腕を磨き20年はツアー2勝。タガログ語や英語も話す。東京・代々木高出。166センチ、63キロ。19歳。(共同)

年	大会名	年齢
1977	全米女子プロ選手権	樋口 久子(31歳)
2019	全英女子オープン	波野日向子(20歳)
21	マスターズ・トーナメント	松山 英樹(29歳)
	全米女子オープン選手権	笹生 優花(19歳)

※年齢は達成時

日本勢の
ゴルフメジャー優勝

女子のメジャーは歴史や格があるとして米女子ツアーが5大会を指定。日本女子では1977年全米女子プロ選手権の樋口久子、2019年全英女子オープンの波野日向子に続き3人目の制覇となった。

笹生は日本国籍も持つが今大会はフィリピンの選手としてプレーし、東京五輪も母の母国の代表となる見込み。将来的には日本国籍選択を視野に入れる。力強いショットで日本ツアー参戦1年目の昨年に2勝を挙げた。今回の勝利で賞金100万円(約1億1千万円)、米ツアーの出場資格をつかんだ。

男子では4月に松山英樹がマスターズ・トーナメントで日本男子初のメジャー制覇を果たしたばかりで、快挙が続く。第一人者の畑岡を含め、東京五輪への期待も高まっている。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

- ①全米女子オープン選手権で優勝した選手を書きましょう。さん
- ②プレーオフをあらそった選手は誰ですか。さん
- ③全米女子オープン選手権で最年少優勝記録にちょうど並びましたが何歳何カ月何日ですか。
- ④女子のメジャー大会を今まで制覇した日本人選手を年と大会名とともに書きましょう。
さん
さん
- ⑤今回の勝利で得られた賞金と資格を書きましょう。